

令和 6 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 だーちゃらぼ

1 事業の成果

近年、全国的に不登校の児童生徒数は増加傾向にある。文部科学省「令和 5 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によれば、不登校の小中学生は過去最多の約 34 万人に達し、特に小学校低学年層における増加が顕著である。この現象は、子どもたちが集団生活や学校空間に対して強い違和感や不適応感を抱き、安心して自分らしく過ごすことが難しい状況にあると考えられるだろう。このような社会課題を前に、特定非営利活動法人だーちゃらぼは、臨床心理士・公認心理師が中心となって構成された専門家団体という強みを生かしながら、子どもが人生を自由に歩む力を育むため『体験』『学習』『相談』の支援に取り組んでいる。

令和 6 年度は、こうした理念に基づき、フリースクールを中心とした子ども・若者の支援に取り組んだ。豊島区近辺に在住する家庭からの相談・問い合わせは引き続き増加傾向にあり、CSW（スクールソーシャルワーカー）や教育センター等からの紹介ケースも寄せられた。地域における小学生のフリースクールの存在意義は年々高まっていることが伺える。

また、昨年度に続き、豊島区から受託している「若者等がつくる若者の居場所応援事業（だちゃカフェ）」についても契約が継続された。

以下、令和 6 年度に実施した各事業の詳細を報告する。

以下、各事業の詳細を報告する。

（1）子ども若者の居場所作り事業

不登校や発達特性、社会的孤立などを背景に、日中の居場所を必要とする不登校児童を対象に、「フリースクールだーちゃ」を通年で運営した。会場は法人事務所（豊島区）であり、週 5 日の 10:00～15:00 の開室により、学習支援・生活支援・心理的支援を一体的に提供した。今年度はのべ 1144 名を支援し、個別対応や小集団プログラムを通して、子ども自身が安心して自己表現し、他者とつながることができる環境づくりを目指した。学習支援のほか、創作・調理・外出活動・グループワークなどの多様な体験活動を組み合わせて提供しており、学校復帰や中学進学などフリースクールからの卒業生も多く見られた。

「ものづくり交流スペースだちゃカフェ」については、豊島区受託事業として、毎週木・金曜日の 16:00～18:00 に開催した。大学生や若手社会人、通信制高校に通う若者などが主な利用層であり、のべ 149 名が参加した。継続利用者が多く、回数を重ねる毎に利用者各々が抱える課題内容の変化や、利用者間でのコミュニケーションも見られ、居場所として定着している様子がうかがえる。

（2）メンタルヘルスに関わる相談及び検査事業

不登校の子どもやその保護者を対象に、オンラインによる個別相談・心理カウンセリングを随時実施した。相談内容は学校との関係、進路不安、家庭内コミュニケーションなど多岐にわたる。のべ 23 名を支援した。心理検査については、実施に至る希望者がいなかったため、今年度の実施はなかった。

[ここを入力]

(3) 子ども若者のメンタルヘルスに関わる啓発事業

今年度は大学や・他団体とのコラボイベント、子ども支援事業に携わる大学生ボランティアを対象とした研修会など、延べ410名に啓発活動を実施した。啓発事業の詳細を以下に示す。

- 『桜丘高校キャリア講演会』
- 『ボランティア研修会』
- 『SusHi Tech Tokyo 2025 (子どもスマイルムーブメント)』
- 『豊島子育て応援し隊』
- 『看護科学学会』
- 『豊島区社会貢献活動見本市』

(1) 外部団体に対する研修講師派遣およびコンサルティング事業

希望団体が居なかったため、実施しなかった。

2 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用【8,669】千円)

定款に記載された事業名	事業内容		場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子ども若者の居場所作り事業	不登校や居場所を必要とする子どもを対象に、週5日開室するフリースクールを運営する。	通年	法人事務所	10	心理支援・居場所支援・学習支援を必要としている子ども	1144	8,119
	豊島区すずらんスマイルプロジェクトの受託事業として、不登校生をはじめとする中学生～24歳の若者が利用できる『だちやカフェ』を運営する。	随時	法人事務所	5	居場所を必要としている中学生～20代の若者	149	
メンタルヘルスに関わる相談及び検査事業	主にメンタルヘルス支援を要する者に対して、オンラインにて、カウンセリングを随時実施する。	通年	法人事務所、オンライン	2	心理支援を必要としている子ども、保護者	23	150
	主にメンタルヘルス支援を要する者に対して、対面にて心理検査を随時実施する。	通年	法人事務所	2	心理支援を必要としている子ども	0	
子ども若者のメンタルヘルスに関わる啓発事業	地域の子ども若者を対象とした体験イベントや、月1回程度の親の会などの子育て支援、子ども若者支援に携わる人材へのセミナー等啓発事業を実施する。	随時	法人事務所、東京都内、オンライン	5	心理支援を必要とする子どもの保護者	410	400
外部団体に対する研修講師派遣およびコンサルティング事業	子ども若者事業に携わる支援者を対象とした研修会及びコンサルティングを随時実施する。	随時	法人事務所、講演先、オンライン	5	子ども・若者の支援にあたっている団体・個人	0	0